

平成中校区 令和コミュニティトーク **要約**

日 時：令和4年11月2日（水） 14：00～16：13

場 所：サンアリーナせんだい 研修・会議室

出席者

市：田中市長、永田副市長、未来政策部長、教育部長、秘書広報課長、コミュニティ課長他

地域：平成中校区の5地区コミュニティ協議会長をはじめとする地区住民50名
(合計63名の参加)

市政報告 市長

皆様こんにちは。お忙しい中、今日はアリーナにたくさんお集まりいただき、本当に感謝申し上げます。また、毎回この令和コミュニティトークのために、市議会議員の皆様もたくさんご参集いただき改めて感謝申し上げます。市民の皆様と市長の対話集会は、市を10地区、おおむね中学校区単位で実施することとしており、私も市長就任が11月7日で、間もなく満2年、市議会議員の皆様とともに、4年のうちの2年になるが、コロナ禍の中でなかなか令和コミュニティトークも開催できずに、この平成中校区がようやく2年で1巡目の10回目の開催となった。大きな一区切りであり、改めて感謝申し上げます。

市政報告の概要であるが、まず令和2年からの新型コロナウイルス、ワクチン接種のことで、今、全体的に川薩地域に罹患者の方は少ないが、感染予防対策は、本日のようにマスク、手洗い、換気、体温測定といったことに十分ご留意をお願いする。ワクチン接種のことであるが、これも、去年の3月から始まっており、長い期間かかっているが、3回目を接種された方が68%、全9万2,000人の市民の中で68%、4回目を接種された方が、全9万2,000人の市民の中で、35%となっており、今は12歳以上、5歳～11歳、状況によっては、生後6カ月からということも仕組みとしては、始まっている。改めてのお願いになるが、いわゆるオミクロン株対応型ワクチン接種ということで、1番新しいワクチン接種を、これまでは接種してから5カ月後のサイクルだったが、11月からは3カ月後に、新ワクチンの接種券が送付される仕組みになっている。次打たれるのが3回目、4回目の人、私は今月5回目を打つが、この3回目、4回目、5回目の方は、新ワクチンを打つという仕組みで、3カ月サイクルで接種券を送付するので、かかりつけ医あるいは、明日、アリーナである県の集団接種とか、そういったところの予約をされて、お願いしたいと思っている。罹患者が減ったといっても、マスク等で、第8波が年末年始でという報道もあるので、積極的なワクチン接種をお願いしたい。

イベント開催について先ほど申し上げたが、市民の皆様との対話も自粛的な傾向であったが、令和4年からは気をつけて開催しようと、近い日程では、11月6日の「薩摩川内はんやまつり」も規模縮小と言っても45団体の2,500人ぐらいで、感染予防には注意するが、3年ぶりの開催と、11月20日の「市産業祭&JAフェスタ」こ

れも3年ぶりであるが、時間を縮め、出店の方も少し数を制限しながら開催することとなっている。

災害対応のことであるが、現時点、市内、大きな雨の災害等はないが、去年一昨年、浸水被害等があった。これまで私も行政無線で直接の放送を行ったが、6回の避難指示と、究極1回、緊急安全確保、安全な場所に身を置くようにと、放送、発令をしたので、今後も、あらゆる災害については、万全のご注意をお願いしたい。特に今はその時期ではないが線状降水帯という気象庁も予測し難く、この広い市域の中で、ある地域に限定的に降る雨が、ここ2、3年全国的に頻発しているのので、皆さん方も各自治会、各地区コミュニティ協議会で、気象情報には十分留意され、声かけなどをよろしく願いたい。

防災関係では、消防団員を募集し、プロテクトキャンペーンという言い方で消防団員確保の月間としており、今月いっぱいということで、声掛けをしながら、市、消防局、消防団、消防後援会の皆さんと一緒に1人でも地域貢献できる団員確保に頑張っていきたいと思っている。

市役所の組織改革で半年経ったが、合併から18年ぶりに今年の4月1日で部制を再編した。さかのぼるが、去年の10月1日付けで、本土の4支所を担当する次長、甌島振興局これも次長級と、17年ぶりであるが去年は支所担当の組織も再編している。

光ファイバー網のことであるが、私が県議会議員の頃から市長就任の頃、平成中校区、いわゆる中心市街地から離れたところも私も八幡地区であるが、幹線の光ファイバー網の要望が非常に強く、岩切前市長が大きな段取りをいただき、今年の2月に48地区で大きな幹線道路には、光ファイバー網が敷設された。

この2月にアフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望ということで、5項目を発表したが、その中で後ほど申し上げるが、この48地区の地区振興計画の改定を今日も振り返りの発表していただくが、令和6年～10年までの5年間で、1年半、令和4年度の後半と令和5年度、来年にかけて地区で十分に話し合い市役所とも意見交換しながら次の地区振興計画を是非一緒になって作っていききたいと思っている。これも公表しているが、今年の10月1日で48地区に、地区振興計画改定の担当職員を配置したので、その職員を通じて、市役所との連絡を取ってくださるようによろしく願います。

あと雇用創出ということで1つ報告であるが、この平成中校区内、特に高来地区で一例として京セラ川内工場が増設中である。ちょうどグラウンドと駐車場の第2ブロックの上に京セラの工場でも最大級のものを建設中で、来年の秋完成予定ということである。さらに色々、高来地区には大変お世話になっているが、矢立地区、京セラ川内工場の高城川の西側の方に、10haの企業用地を市土地開発公社が買収し、近く造成に着手することになっている。これまでも、議題でも出てきているが、この用地買収、地元調整に特に高来地区の皆様にはご苦勞、ご心配をかけていること改めて感謝申し上げます。

雇用の創出ということの一例としてご紹介申し上げますが、火力発電所跡地にサーキュラーパーク九州構想を発表し、川内火力発電所も47年間ほど稼働してきたが、九州電力が廃止し、川内港と一体となった再開発をしようという合意をしている。何を作るかということは、いわゆる資源の循環、リサイクル、あるいは脱炭素化、CO2を出さ

ないような企業誘致、研究機関を作ろうと今準備を進めている。

令和コミュニティトークのことで、これまでの「まちづくり懇話会」という名前であったが、変更点を改めて各地区の方にお知らせするが各地区コミュニティ協議会会長に地区振興計画の振り返り「達成できたところ」、「これから、もう少し改善点があるところ」を公表いただき、議題については、市役所で十分に会議をして検討してきている。答弁的には、副市長あるいは未来政策部長が答弁し、私もまた総括的に、また色々自分の考えなり市の方針を公表させていただく。

最後に、私も令和2年11月7日からあつという間に、市長就任2年になった。自分の基本姿勢として、市議会議員制度も重要視するし、自治組織556自治会と48地区コミュニティ協議会を非常に大事に重要視しているので、この考え方でいきたい。後ほど地区振興計画の振り返りで発表があると思うが、やはりこれまで市内、甕島を含めて令和コミュニティトークを9地区で開催したが、やはりアフターコロナ、令和の時代においても各自治会、各地区コミュニティ協議会の中の声かけ、見守り、助け合い、この基礎的なものが非常に重要だと改めて痛感している。これからも、市の方針として自分自身の基本姿勢としても地区コミュニティ協議会と地区内の全自治会が一体となった取り組みを力強く支援していきたいと思うので、これからもよろしくお願い申し上げます。

地区振興計画振り返り

【八幡地区】

- ・ 今お話があったように残念ながらコロナの関係で、八幡地区としても諸々の行事を計画していた。フェスティバルの郷土芸能を始めとして子供たちのため、あるいは地区住民のために色々計画を立てていたが、ほとんど頓挫している。
- ・ 今、やっていることは、高齢者向けのグラウンドゴルフ場の整備と八幡の石蔵を中心にして、地区住民の皆様の協力もらいながら、活動している状況である。地域振興計画を掲げているが、ほとんど達成していないので報告する。

【高来地区】

- ・ 全体的な振り返り評価についてであるが、第4期で策定した基本項目が6部門あり細かくは27項目になるが、令和2年度、3年度、そして4年度の現時点では、どこの地区もそうであると思うが、コロナ禍の影響により事業が縮小また中止するという状況になっている。現時点で評価するとすればC、Dと評価せざるを得ない項目が多いが、令和元年度基準に評価すれば計画通りで実施できたものが30項目、おおむね計画通りにできたものが5項目、あまり計画通りにできなかったものが1項目、全く計画通り行かなかったものが1項目となっている。
- ・ 重点3項目の活動条件について、まず重点項目1項目は地域づくりの視点から高城川川祭りを挙げている。今年度は第25回の川祭りになった。例年は地区内外から1,000人をはるかに超える多くの方々に参加いただいているが、令和2年度、3年度は川祭りそのものが中止となった。しかし、地域の環境保全の立場から毎年欠かさず、環境周辺の草刈と環境整備等に努めている。今年ではできる範囲で、できることをやろうと昼の部は子ども達を中心に夜は花火をとということで計画したが、コロナの低年代層の感染拡大によって昼の部はやむなく中止する

という状況になったが夜の部は花火を打ち上げることで来年の活動につながっていくと考えている。

- 重点項目2項目は同じ地域づくりの観点から、稚児ヶ淵の親水公園予定地の取り組みを掲げている。数年前に市長をはじめ県当局の方にも参加いただき、視察いただいたが、その後、何の進展もない状況である。地域として一部に、稚児ヶ淵の親水公園化は長年の取組であって再考をという意見があるが、今後地域の人口減少、そして高齢化に伴う活用度の問題等、あるいは維持管理の面で多額の費用を要すること等が予想され、親水公園がどうなのかということを考えている。後ほど、またフリートークの時にお出しするので、市のご意見も伺いたい。
- 同じく重点3項目は、第1項目、第2項目と関わりを持つ基本政策であるが、川祭り会場である高城川、高城清流の里の整備事業である。高城清流の里は、妹背橋から下流の方を中心にした場所になっているが、春は桜、夏は川祭り、秋は彼岸花、年間を通して地区民の憩いの場となっており、ここの整備を行うことによって、より一層地域の活性化と歴史、伝統文化の保存、緑や水辺などの豊かな環境の維持につながるのではないかと考えている。この整備事業も稚児ヶ淵の親水公園化と関連して、また後ほど提案させていただきたい。
- 事業を進める点で良かった、うまくいったというのはコロナ禍の中でもそれぞれ各専門部あるいは青年会とか業務会とか地域の団体が自主的に、いろんな活動をされて非常にありがたかった。
- 具体的なことを挙げると時間がかかるので以上であるが、うまくいかなかった点は、先ほどの評価でも述べたがおおむねうまくいっているが、市、県との連携を必要とする事業がうまくいっていないと考えている。今後は人と人との交流、つながりを大切にして、安心、安全な地域づくりに取り組んでいく予定である。

【城上地区】

- 地区振興計画の振り返りについては今までの現状、過去、それを振り返りながらしないと生きてこないかと思うので説明する。城上町は5つの自治会で構成されており、学校は城上幼稚園、城上小学校、平成中学校があり、平成21年には城上児童クラブが開設され、教育環境は大変良い地域である。また、地域には清流高城川があり、夏場の川遊びができ、支流の小畑川、八幡川、中間川は、蛍が乱舞する自然豊かな地域である。平成19年度からは、農地・水環境事業も取り入れ地区民一体となって環境保全活動にも取り組んでいる。また地区には、市の史跡に指定されている松下田庚申塔をはじめ、たくさんの史跡がある。伝統芸能としては、平成30年に薩摩川内市無形文化財に指定されている城上太鼓踊りがある。
- 先ほど述べたが、地区内には5自治会がある。昨年度までは6自治会あったが、今年度より城下住宅自治会が脱退したため5自治会となった。5自治会のうち戸数人口は、下塚自治会は、ほぼ現状を維持している。上塚、中間、小川の3自治会は大幅に減少しており、また増える見込みがないところである。近い将来、自治会及びコミュニティ協議会の運営にも影響は出てくると思う。自治会、コミュニティ協議会の役員のみ手がなくなる。それからまた会費の収入減が発生し、いろんな問題が発生すると懸念しているところである。以上のことにより、全体的

には城上地区は、さらに少子高齢化が進み、超高齢化社会になるのではないかと考えている。

- こういうことを踏まえて、平成31年、令和元年度に策定された地区振興計画が4年目に入っているが、コミュニティ協議会においては、執行部をはじめ7部会がある。それぞれ年間の活動方針を作成し進めているが、令和2年3月から始まった新型コロナウイルス感染症の流行により、ほとんどの部会において計画を実施できなかった。
- 細かく言うと、執行部、太鼓踊りは2年、3年度は中止、4年度は実施した。今年度、8月に実施した納涼祭は2年、3年度、4年度中止である。文化祭も2年、3年度、4年度中止である。自治活動部会であるが、鬼火焚きは2年、3年、4年度中止した。ただし鬼火焚きの代わりに令和2年度、去年の1月に花火を打ち上げた。体育部会は、各種スポーツ大会を計画していたが、2年度、3年度も中止、4年度も現在までほぼ全部中止である。健康福祉部においては、各自治会でサロン等を毎月実施し、それなりの成果が見られている。青少年育成は、城上小学校PTAと共催で田植え、稲刈り、稲取り等を行っている。環境整備部会は、河川愛護、道路愛護、野焼き等を実施している。以上のことよりうちで行う行事、多人数が集まる行事はほとんど中止で、少人数の野外活動はだいたい実施できている。地域防災部というのがあるが、後で申し上げる。
- 城上地区の重点課題及び重点目標は、地域福祉活動の推進、相互扶助の推進で地域を守り、孤独死を防ぎ、災害時、高城川の氾濫等の対策を行うと1つ目標を作っている。これについては、毎年、城上地区地域防災会議、通常これは市役所との会議であるが、詰所会議は行っている。それと3年度は城上地区が自主的に防災会議を開いて各自治会長、副会長に集まっていただき、マップにより地域の危険個所の見回り点検、それと最近、気が付かなかったが太陽光発電所が大幅に増えており16カ所ある。これも台風時にパネルが飛んだりするというような危険の指摘があったので実施している。自治活動部会の方で郷土芸能、城上太鼓踊りを申し上げたが、令和2年度、3年度は中止した。今年度は夏8月6日に実施した。これも伝統芸能の継続、継承も重点目標にあげていたので正直なところ、コロナの感染予防、熱中症対策、ものすごく気使いながら実施した。城上太鼓踊りの会長がもう必死になってやってくれて、非常にこれはよかったなと考えている。
- もう1つは先ほど申し上げたが地域の防災、防犯、交通に対する重点目標があるが、これは地域防災部ということで、青色パトロールを今年、去年の3年度までは3台であったが、4年度から3台増やして6台で運用している。月、火、水、木、金、毎日、毎朝と3時頃パトロールをしている。その他に、通常のパトロール隊員が30名ぐらいおり、それぞれ月曜日とか水曜日とか金曜日とか、パトロールを実施している。城上小学校、平成中学校、ものすごく感謝しておられる。その他にスクールガードリーダー、川内北交番、北薩モニター、子ども110番の家、交通安全協会と城上分会と協力しながら地域の防犯、防災、交通部会、交通安全を実施している。
- 城上パトロール隊は県警から表彰されており平成30年度には九州管区警察局

長の表彰もいただいた。また、確定ではないが、薩摩川内警察署内にある交通安全協会の方から全国に表彰申請しようかという話をいただいて、書類を揃える準備をしている。もちろん、これは予定であり、どうなるのかわからないが、もしいただけたら城上にとっては大きな名誉じゃないかと考えている。

- これらの活動を通じて私たちは22項目いろんな目標を掲げて活動している。それで現在で言うと22項目のうちAが13項目、Bが1項目、Cが7項目、中止が1、合計22、ご存知の通りAは「おおむねできたと、予定通りできたと」、Bは「まあ、おおむねできた」とCは7個あるが「あまりよくできなかった」という評価である。このCの7項目については、全てコロナ禍の影響だと考えている。

【陽成地区】

- 本日は市長、永田副市長をはじめ、市の幹部の方々、また地元の宮里議員や多くの市議会議員の方々、そして多くの地域の皆様方にお出向きいただき、本当に感謝する。平成中校区出身の市長として先ほども紹介されたが、令和2年11月7日に就任されてからあと5日で2年、その間、招かざるコロナに翻弄される中、市民の先頭に立って元気に日々の激務を頑張っておられる市長を、誇りに思う。今後もお体を大切にされ、ますますのご活躍をご期待申し上げるとともに、これまで同様に平成中校区の地域の活性化へのご理解、ご配慮を賜ればありがたい。
- 本日の議題である第4期地区振興計画の中間年での振り返りについて少々時間をいただいて説明を申し上げます。みんなが主役で、郷土への誇りと愛着のある、ともに支え合い、自然の恵みと人を活かす、安全に安心して暮らせるまちづくりの5つを基本方針として、また3つの重点項目を含めた活動を34項目に分類し、地区振興計画へ掲げている。
- 重点3項目の振り返りの1つ目は閉校跡地利活用事業である。閉校後4年を経過した今、体育館は野球の練習場として高城中央幼稚園は団体の活用が進み、地域と連携したイベントなども行われており元気度アップにつながるとともに交流人口増など一定の成果は得られていると思っている。しかし、利活用ができていない校舎は、地域の思いとはかけ離れた市の倉庫として使用されている。運動場などを含めた地域の活性化に寄与する利活用を推進されるよう強くお願いをしたい。評価はC評価になる。
- 2つ目は、地域生活支援事業である。活動の主役であるコーディネーターの確保ができずに頓挫の状況であったが社会福祉協議会による運用を機に高齢者がいつでも住み慣れた家で安心して暮らせる支援事業のスタートができた。今後も社会福祉協議会との連携をより強めつつ実のある事業に向けて努力していきたい。評価はB評価である。
- 最後に3つ目は安全に安心して暮らせるまちづくりに必要不可欠な自主防災組織の拡充である。近年の予期せぬ異常気象が頻繁に発生している現状を踏まえ防災意識の向上はもとより避難誘導のあり方、情報の収集、伝達の明確化など相対的に検証見直しを進めている。現状にマッチした防災計画を作成し人的物的被害の発生及び拡大の防止に努めて参りたい。評価は、進行中であるので、C評価になる。なお、先ほどお話しした情報の収集伝達については後ほど事前提出議題の中で提案させていただく。

- ・ 以上述べた重点3項目も含めた全ての事業実績を進捗率で評価すると計画通りのA評価、おおむね計画通りのB評価を合わせた活動実績評価は34項目中の21項目がA、B評価で62%になる。またC、D評価については、11項目の32%との実績にある。また取り下げ中止したのが、秋祭りを文化祭へ統合、地区の運動会を高来小学校の運動会へ変更した2事業になる。
- ・ 以上であるが少子高齢化の波やコロナ禍の影響の中、中止や縮小、工夫などの見直しを余儀なくされた活動になった。全体的には、なんとか成果を得られたと思っているが今後も期末に向けてしっかりと取り組んで参りたい。活動は自助、共助での実施主体であるが過疎化対策や生活基盤対策など行政の助けがないと進まない事業もある。今後も相互理解のもと事業化の達成が得られるご配慮をお願いしたい。まだまだ多くの課題も山積している。

【吉川地区】

- ・ 年々過疎高齢化が進んでいる実態はもう皆様ご存じだろうと思う。数字でご案内する。今年度、人口が158人、昨年度に比べて△12である。それから戸数では世帯数は100戸、このうち自治会加入は83戸それぞれ△5、この数字から地域が少子化、人口の低下が厳しい状況を読み取っていただければと思う。合わせて高齢化率65歳以上が66.5%、これはもう全体である。ゴールド集落の見直しによって70歳以上、ここが53.2%、4自治会において3自治会は現在もゴールド集落に指定されている。学校の関係であるが児童生徒、小学生は4人、城上小学校へ通っている2家族である。中学生が1人、この1人が貴重で、それぞれの地域との繋がりを守ってもらっているということで喜んでいる。
- ・ そういうことを基にしてコロナ禍の中で、なかなか事業をスムーズに取り組めない現状があった。まずはご紹介であるが8年前に吉川小学校が閉校になった。これを機に地区振興計画の見直しをした経緯がある。そして第4期の見直しの時に新たに8項目について新規事業の組替をしたというところで、中間の見直し結果的にはAの評価で8項目、Bの評価で13項目、なかなか難しかったCの評価が12項目ある。これらの中身については先ほど触れたが諸事情で計画したものができなかったということもある。
- ・ コロナ禍の中でも地区内で取り組めるものは専門部を中心にして頑張って継続をしよう。であるから規模の縮小を考えながら、そしてできるものは代替策を考えてみたいといったところで今できる形で取組をしている。例えば新規の事業で新たな取組として年末にイルミネーションをセットして冬の地区を明るくしようとか正月には鬼火を焚いて地区民の安全それから安泰の祈願をしようといったこともやっているが、交流行事を主に交流人口を増やして活性化をとといった項目については軒並み残念ながら取りやめということであるが、環境整備に関係する山道それから古い道の、あるいは「そばどんの滝」の遊歩道の整備、これらについては、いつでも使えるようにということで年間の計画に位置付けて地元で頑張ってきている。なかなか思い通りに行かないところで、前段でご案内したが地区コミュニティ協議会それからそれぞれの自治会の組織、運営、今後に向けては難しい課題をたくさん抱えているが、できる形で何ができるかという模索をしながら、ご案内をしたような見直しと、それから代替のもの、いろいろ工夫をしながら

ら取組をさせていただいた。どうかそういったところで、小さな地域であるが地区民も高齢の者が多いが、その中でも自分のふるさと地域であるので、ふるさと大事で頑張っていこうと話をしている。

市長コメント

ただ今5地区の会長から丁寧な地区振興計画の振り返りをいただいた。冒頭申し上げたように、この地区振興計画の振り返りは、これまで市民の皆様との対話集会ではなかったことであるが非常に基本的なことで自分の地区の活動全体が、どんな進捗、課題があるかというのを地区、住民が知るという機会ということと同じ平成中校区5地区あるが隣の地区がどういったことをされているか、どういった課題があるか、なかなか知る機会というのは、これまで私の経験上はなかったということで、ある意味、地味で基本的であるが、こういったことが、また次の各地区の振興計画の策定それから市が今日を含めて皆さんのご意見、地区振興計画の評価を全体的に次の市の計画、ビジョンに反映する貴重な意見、情報と考えている。

今あったように非常に良かった点で、私も5地区の地区振興計画は全て目を通している。八幡地区においては特に特徴的な石蔵の活用管理、今日も素晴らしい「八幡の石蔵」というパンフレットを作られて、心から敬意を表す。高齢者のグランドゴルフの実施あるいは、高来地区においては高城川の川祭り清流の里事業など伝統芸能の継承では、太鼓踊りや虚無僧踊りをこの期間に、これまでも実施しているということで継承活動が続いている。城上地区においては、農地水・人・農地プランで遊休農地の斡旋、それから私も見たが本年度は伝統芸能の継承で太鼓踊りが過去最大の人数と思われるが、復活してよかったと思う。また会長からもご報告があったように防災点検の実施とか、それから青パトも倍増して6台で、きめ細かく地区民、子ども達の安全安心をされていることは非常に大きな参考になった。それから陽成地区においては陽成小体育館の活用、幼稚園の土地の活用で市域全体において大きな参考になると思うし、花いっぱい運動とかイチョウの木のライトアップが間もなくか、そういったマスコミに取り上げられるような素晴らしい取組の報告もあった。それからまるごとささえ愛事業については、スタートができたという報告であった。吉川地区については年末のイルミネーション、正月の鬼火焚き、報告書の中で吉川自然塾米作り体験と、これも非常に地区外の住民の方、子供たちにとっては貴重な体験だと考えている。

未達成・改善点で、これはもう5地区共通であるが、やはりこの3年度にわたるコロナ禍によって私の自治会、八幡地区、役田であるが自治会の行事の範囲で今でも開催できない部分があり、これがもう全体的に開催自粛、延期、中止に至っている。

大きな事で、これも5地区共通であるが高来地区からもでた人口減少の中で施設整備、何か起きた時に活用されるのかということ。仮に地元管理になった時に、将来に渡ってできるかということ、お互いに議論しなければならないと思う。城上地区についてもこれも根本的なことで、これまでの9地域でも出たが人口減少の中の自治会の維持ということ。それはイコール、地区コミュニティ協議会一体であるので、構造的に議論を続けていかなければならないと痛切に改めて感じている。陽成地区においては、陽成小の校舎校庭の活用で達成できた部分と残された施設の活

用が課題と認識し、地区防災計画も見直しということであった。

冒頭も申し上げたが、これからの自治会、地区コミュニティ協議会は市の基礎的な自治組織の中では、子供たちの育成、見守り、高齢者の見守り、環境美化、あるいは防災対応、自治会、コミュニティ協議会主催のイベント開催、これについてはコロナ禍での中止が多かったが、それでも注意しながら開催できた。久しぶりに復活したということがあるので、来年以降の地区振興計画、地区活動の参考になるのではないかなと思う。

そして各9地域でも申し上げたが「目指す平成中地域の姿」という大きな項目であるが、これは基本的にアフターコロナで3年前の自治会活動、地区活動に戻すという議論、これをもう1回アフターコロナで感染予防の中で取り戻すという議論を各自治会、各地区コミュニティ協議会で、やるものはやる、やむなくできないものはできない、拡充していく新規を増やすという議論も各単位でしたいし市役所自体も今後のイベント主催については、こういった基本的な考え方でいきたいと考えている。

地区振興計画後の見直しについて、今日も5地区それぞれ出て担当の地区支援員もいるので、それを基にいろんな評価をしていただき特に他の地域でも申し上げたが、今日はその会長や役員の自主評価だと思うが地区外の方から見て特に主催のイベントについて、こういった工夫が良かったとか、もうちょっとこういう工夫というのはあるかもしれないので、地区外からの評価をもらうという仕組みも大事だと思っている。

最後に人口のことを申し上げる。時点は同じ時点である。八幡地区が1, 137人、高来地区が2, 032人、城上が966人、陽成が534人、吉川が158人という5地区の人口の内容で48地区あるが、1番人口が大きいのは平佐西である。川内駅から川内純心女子大学、1万3, 916人である。そして地区コミュニティ協議会で1番小さいのは下甌町に内川内があるが、ここは地区コミュニティ協議会で23人である。自治会は、556ある。1番小さな自治会は私の記憶では8人だった。とにかく1桁である。そして自治会で1番大きいのは、育英の鶴峰が1自治会で1, 713人ということを示す。これは人口が556自治会、48地区コミュニティ協議会、多い少ないが良い悪いの議論ではない。そういう実態だということと申し上げたいのは、今回は10地域初めて市内一巡した令和コミュニティトークであるが人口差はあってもどの自治会、どの地区コミュニティ協議会も頑張っていることを言いたいために申し上げている次第である。私も先ほど申し上げた八幡地区ゴールド集落の役田自治会にずっと住んでおり、自分の住んでいる環境、そこが普通でスタンダード基準であるが、申し上げたように、この人口差だけでも千差万別あるので、それこそ各々、人口は大きいところ小さいところを問わず自分の地区をどうしたらいいかという議論をしていただきたいという意味で、この数字を申し上げた。

それから人口減少が我が国の場合、県の全体の総人口は、数十年間減り続ける統計である増えることはない。これはもう統計上いわゆる根拠に基づく政策ということで、これも事実である。何を申し上げたいかと言うと今日のような振り返りと維持活性化に向けた議論は、ずっと続けなければならないという意味である。

最後に自治会の再編、自治会の合併のことであるが、これもこれまでの9地域で、あるいは市議会における質疑の中で出てきており、これについて自主的に合併の協議をしたいという自治会がコミュニティ協議会の中にあつた場合は、市の方も直接出向いて話を伺う。そして市内の先行例で4自治会合併もあるし現在、合併協議をしている自治会もあるので、そういった情報を提供しながら最終判断は、また各自自治会に委ねるが皆さんと一緒に取組、こういう人口減少の中で自治会組織、地区コミュニティ協議会の組織の維持と活動の活性化は一緒になって続けていきたいと思っているので、よろしく願います。

事前提出議題

議題1 八幡石蔵と史跡について【八幡地区】

少子高齢化はますます厳しくなっているが、八幡地区コミュニティ協議会としては、八幡地区に少しでも興味を持ち、足を運んでみたいと思われる環境づくりに精一杯、取り組んでいる。八幡の文化遺産である石蔵は、昭和の歴史がたくさん凝縮されており子どもから中年層まで社会勉強に大変役立つと思う。また、イベント班はコンサートや尺八の演奏会も計画し、地区内外の人たちの興味を集めることとなる。地区には29の史跡があるが今回、石蔵から今村地区の市文化遺産である八幡の庚申塔が一番古く歴史ある庚申塔だと聞いている。渋谷一族、東郷元帥の記念碑をめぐり「堂坂堰」を通り田海川の川べりを進むと島津歳久公の供養塔がある。5月には、蛍が飛び交う河川を跨いで泳いでいる鯉のぼりを見ながら進むと、河川敷には桜並木が続いている。石蔵を中心にして島津歳久公のお墓までのサイクリングロード4.2kmを計画している。今回、石蔵の屋根が雨漏りのため風面だけ取り替えた。220万円と出費も多くなっており維持するために計画が頓挫しないよう頑張っていきたいと思っているが、行政のお力添えをお願いしたい。石蔵見学会は、市内の小学校の子供たちに全員見学してもらいたい。教育部長、教育長にお話ししてあり、また現地に出向いて視察もしてもらっている。近く各小学校に紹介、案内をして参りたいと思っている。このように八幡の石蔵を中心に八幡地区コミュニティセンター前に住宅メーカーが、10棟ぐらい建物も建てた。手前には京セラが社員寮も計画をしている。また、住宅メーカーの宅地から向こうの交差点まで行くと2町6反分程の土地がある。鹿児島業者は開発許可の申請が終わり次第、埋立てに入り宅地造成を予定している。そのようなことで、私は小さな拠点を作るために八幡地区の石蔵を中心に、サイクリングロードをしながら地区内外の方を八幡に引き込み「魅力ある地域づくり・人づくり」、「個性豊かな次代を担う青少年の育成」、「健やかに楽しく暮らせるまちづくり」、「安心安全できれいなまち八幡」、「いきいきと元気あるまちづくり」をつくるために、執行部役員をはじめ地区内の寄付をもらいながら、こういう目的に向かって進んでいるので石蔵の保全と地区内外に支援をお願いしたい。

未来政策部長

八幡地区コミュニティ協議会におかれては、地区振興計画にある「魅力ある地域づくり・人づくり」、今も紹介があつたように2連式の石蔵を今昔館ということで、イベント広場として整備を進められ、令和3年9月にパンフレットも作られて、素

晴らしい地域活性化の取組ということで認識はしている。ご意見で石蔵を市の文化遺産として位置づけてほしい、石蔵の補修等の補助をとということであったが、市内の他の未指定の石蔵と比較して、この建物自体が作られた年代とか歴史的背景が少ないと言いますか、同じような石蔵が結構あることから、文化財としての指定は難しい部分がある。したがって指定文化財でないために文化財関連の補助金は、活用できてない状況である。市としては、これまでマイスター事業で100万円近く支援もさせていただいているところであるが、この地区コミュニティ協議会所有の石蔵自体が、八幡地区の史跡巡りサイクリングロード構想のシンボルとして拠点としての位置付けは、私共も認識しているので今回改正される地区振興計画にも位置づけていただいて、永続的に活用いただくよう地域において補修に向けた取組を進めていただければと思っている。マイスター事業、今年度も活用していただいたが今後についても、色々情報交換、意見交換させていただきながら自主的な維持管理、大変だとは思いますが、どうかよろしく願う。

市長

八幡地区の石蔵について振り返りのところで申し上げたが、素晴らしい八幡地区の石蔵という手作りのリーフレットも出していただいて本当に感謝する。また、これまでの活動も私も地元の地区民である。こういった朝晩通る道路の側にあるので熟知しているし史跡巡りも参加したことがあるので、これからも部長が申したように、それからこの地区を大事にする心としては高齢者から子供たちまで歩きながら見ながら、こういった文化資産、歴史の資産を大事にすることを認識する意味でも地区振興計画に是非、改めて位置付けていただきたいと思う。それから維持修繕費について、前回、地区コミュニティ協議会の事務局ともやり取りし当初予算の方に趣旨の言葉、数字としても含まれているので、もう1回役員会で令和4年度当初予算の内容とか、部長が申した本年度20万円以内のコミュニティマスター事業もあるので全体的に過去のJAから取得された後の維持管理と、市の補助金の代わり、令和4年度の八幡地区コミュニティ協議会の当初予算措置の内容をもう1回点検したださるようお願いする。

議題2 高城産業用地開発事業(京セラ川内工場の新增設)に伴う地域住民の安心・安全な生活条件の確保について【高来地区】

冒頭、市長からもご発言があったが高城産業用地開発事業に伴う地区住民の安心、安全な生活条件の確保について提案させていただきたい。高城産業用地開発事業の計画推進から1年4カ月が経過している。これまでに関係自治会、住民や地権者等には市当局、市土地開発公社から、開発の概要について説明、地域住民の意見等、聞くための会合が何回も設定され、開発事業は着々と推進されていると考えている。京セラ川内工場の新增設は、市の今後の発展にもつながり地域としても大いに歓迎するところであるが、事業推進にあたっては、地域住民の切実な意見、要望等、最大限に生かしてほしいと考えている。特に県道吉川川内線は現在も時間帯によっては、かなりの交通渋滞が生じている。新工場増設となれば、この状態は更に激化するものと思われる。対策としては、矢立自治会から国道3号へのアクセス道路を新設と、県道吉川川内線より国道267号への新アクセス道路を具体化して取り組ん

でいただきたいと考えている。よろしく願する。

永田副市長

議題2については、土地開発公社の理事長も務めているので私の方から答えさせていただく。高城産業用地開発事業については、地権者、耕作されている方、地域の皆様方にご理解ご協力をいただき近く造成工事等に着手できる運びとなっていること、まずもって心より関係者の皆様方に感謝を申し上げたい。今回のご意見ご要望については、これまでの地元説明会などでも指摘をいただいているところであり、私共、市としてもあるいは公社として県と十分、緊密な連携を取りながら高城産業用地開発に関連する重要な事業として対応している。具体的に申し上げるが、県の事業、県道吉川川内線の交通渋滞対策、関係職員や私も朝、通りがかり現状は十分理解しているところである。これについては、国道3号から城上方面へ向かう車両の通行を円滑にするため今年度、県において国道3号から京セラ工場正面玄関前の三差路交差点があるが、そちらに向かって右折レーンを延伸するという区画線処理を行う予定と聞いている。これについては、既に発注済みで年をまたぐが、今年度中にこの右折レーンの延伸は、完了する予定である。これが1つである。一方、市の事業、総合運動公園から京セラ工場に下る市道西町・瀬ノ岡線については、三差路のところで下りてきたところに左折レーンを設置するための測量設計業務委託を、また県道吉川川内線から国道267号へ抜けるアクセス道路、隈之城・高城線、場所としては国分寺あたりになるが、ここの測量設計業務も委託しており、それぞれの準備が整い次第、着手する計画である。大変、長期的な取組となるかもしれない。指摘にある矢立地区から国道3号につなげるアクセス道路の新設道路整備も検討して参りたいと考えている。近く本格的な工事に入ることから、工事自体の安全はもとより地域の皆さん方にご迷惑をかけることのないよう配慮して参りたいと考えている。会長の振り返りの中で、県・市との連携という話もあった。この件しっかり受け止めたいと思う。ここにはないが、長尾川の排水対策も大変心配されている意見もいただいております、排水対策そして交通渋滞対策など皆様の意見要望を十分踏まえ、県の協力もいただきながらできるものから順次、対応して参りたい。

市長

市土地開発公社の理事長職である永田副市長の方から お礼と検討の調整事項の報告をさせていただいた。雇用の創出という意味で一例申し上げる。京セラコミュニケーションシステムと市全体の話ということで、お聞きいただきたいが、大型半導体工場の拡張により、いわゆるDX情報化の雇用も今朝の新聞に出ていたが、市役所の近くの新しいビルに34人の方が引っ越して仕事を始められ、今後、情報化のDX(デジタルトランスフォーメーション)の仕事で、あと21人の新規雇用と、非常に大きな市のみならず北薩の雇用創出のインパクトとなっている。合わせて陽成地区の会長からもあったように、こういった企業が出てくると従業員1人の衣食住を支える仕組みが必要ということで、住宅建設と大きな派生効果が全市的に出てくる。一方で、ご要望にあるように、この大型工場を作る工事の途中、操業の後、当然人の流れ車の流れが増えてくるので、それに対応したインフラ、道路事情があるが永田副市長が説明したことについては、県の塩田知事にも関連道路の整備を直接陳情し少しずつであるが、県の右折レーンの新設、市も可能な限り地元の皆さんの

意見を聞きながら対応を図っていく。工事中も段階的な操業後も課題は生じる可能性があるので、その都度、皆さんの意見を直接お聞かせください。

議題3 市道今寺・向鶴線の改良工事について【城上地区】

市道、今寺・向鶴線の改良については、だいぶ前から地区で1つの工事ということで他の工事がなかなか進まない終わらないというようなことだったが、ようやく近年この今寺・向鶴線に着工していただき、令和2年度末まで700m工事が進んでいる。それから残りは900mぐらいあると、このメートル数については市建設部の説明である。それで令和3年3月か4月であったが市建設部から2人来て、3年度の工事をどうするか、コミュニティ協議会として続ける気持ちがあるか。というような話があったので、ぜひお願いするという回答をした覚えがある。それで3年度少しは工事がなんか始まるかなと思っていたら、3年度は一切何も工事が無かった。担当者に1回だけどうなっているのかと伺ったら、地権者との間がまだうまくいっていないと、地権者が大阪か名古屋にいて1回帰ってきて見てからとコロナがあるので、なかなか帰れないという話であった。結果的に3年度は何もなしという結果となった。今年の4月に市役所に行って話を聞いたら、ほとんどその話は伝わっていなかった。要するに前の担当その担当なのか課長か知りませんが、引き継がれていなかった。とにかく引き継いでやっていただきたいというお願いはしたが、そのうちに城上の下塚自治会から、塚村・宇都川路線の道路改良をしてほしいという要望書が出た。これは市長もご存じの通り城上下塚から宇都川路に行く線、右に行ったら役田で、その線は確かに雨が降ると、もう大変危険である。今年に入ってもう2回、1回は土砂崩れ通行止めになり、それからもう1回は倒木で通行止めになって私の方には役田の自治会長から連絡があったりしている。しかし、この件に関しては建設部で、すごく早く対処していただいて、すぐに通過、通行可能になっており、それはそれで安心である。本格的な工事については現在、今寺・向鶴線を工事しているから、こちらの塚村・宇都川路線は、現在は着工できない。着工するにしても昔の設計であり設計をし直したりしたら用地買収とか、そういうのに時間がかかり着工することさえ、今のところ回答はできない。という話であった。でしたら、市道今寺・向鶴線を早く開通していただきたい。というお願いである。実は今日もその道路を通ってきたが、ちょうど道路の途中で大型ダンプと遭遇して、もうお互いに1歩も横にも、どこにもできない。途中で土砂捨て場があり大型ダンプが通ったりする。ただ幸いに今日はダンプがバックしてくれたから通ってきた。大雨の時は必ず山から崩れてきた砂利とかそういうので通行不可能なことが結構ある。そういう意味で令和3年度については何の動きもなく、また何の対処もなかったということに対して不信感を持っていた。それで、できるだけ早く対処をお願いしたいところである。

未来政策部長

まず引き継ぎがうまくいかなかったということで大変申し訳ない。令和3年度は用地買収がうまくいわず全く空白の年度が出たということもあり事業が1年空いたわけであるが今年度、用地買収をできるところからやるということであり中郷側から用地買収を進め用地買収が終わり登記の手続きをしているので、その区間、大体

250mぐらいになりそうであるが、来年度はこの工事を行いたいと考えている。まだ事務の途中であるが、そういう考えを持って作業を進めている。残る用地買収についても引き続き交渉を続けてまいりたい。引き継ぎがうまくいかなかったこと用地買収で1年間集中したがうまくいかなかったこと併せてお詫び申し上げる。

【追加意見：城上地区コミュニティ協議会会長】

確かに引き継がれてなかったことは正直、放っておかれたという印象を受けたが今そういう計画で進んでいるのであればありがたい話で、なるべく早く完工をお願いしたいと思う。感謝する。

市長

いろんな業務の連絡は改めて全部、課に周知徹底する。平成中校区の方はお分かりと思うが部長が説明した個所は、これまで要望路線については北側から南の方ということであったが、ちょうどアリーナから向鶴に行って267号に抜ける途中に市の水道タンクがある。この左側を今年度、用地買収が済んだので、その南側の三差路の部分から北の方に250mを来年度工事するというようにしている。それからもう1つ市道塚村・宇都川路線の改良の要望は承っている。ちょうど場所的にはグリーンロードの城上トンネルから吉川コミュニティセンターに行く筋で、ここは岩の上、急崖でかなりの難工事であるので、この順番としては今ご要望のあった今寺・向鶴線の用地買収を進めながらしていきたいと思う。それから重ねてのお願いであるが公共事業で用地買収が私も昭和50年からいくらか担当したが物事の大体7、8ぐらいの初期のエネルギーを使う。市も一生懸命、用地買収に務めるが、その情報提供を矢立の10haでは大変、助けてもらったので道路整備についても市も用地が買えなければ、工事予算はつけられないということになる。今後も可能な限りの情報提供をお願いしたいと思っている。それから塚村・宇都川路線については急な崖であるから、時々、猪や鹿が登って土砂が崩れたりする。除去の方は、その都度、情報いただければ速やかに対応するので引き続きよろしく願います。

【追加意見：城上地区コミュニティ協議会会長】

塚村・宇都川路線については先ほど申し上げたように建設部の対応が本当に早くて安心して感謝している。ただ大雨とか台風が来たら、ほぼこうなるっていうのが、だいたい想像つく。その辺はさらに建設部の方で注意をお願いしたいと考えている。

議題5 道路にせり出した木枝等の伐採について【吉川地区】

勝手を申して、順番の入れ替えをご相談した。お許いただきたい。ただ今城上地区からあったが、塚村・宇都川路線これ市道である。ちょうど私の自治会を抜けていく生活道路でもある。そこにも関連することであるが、それぞれ生活道路の環境整備という観点から、なかなか地域員で手が届かないところ、災いがあれば先ほど、ご案内の通り速やかに対応していただけるが、その以前に緊急車両とか大型の車両、工事用が走ったりするが、なかなか道路に覆いかぶさった木の枝などで、通行が不便である。今申し上げたように、災害があれば倒木し、そして、生活道路が寸断される状況がある。その対応については、ありがたいことにスムーズに対処いただけるが、その高いところの木は、住民の私どもではなかなか手が届かないので、事業者のボランティアもあるが、なかなかそれでは思い通り作業は進まないということ

があり関連するが、そういうところについて事前に市の担当課、それぞれ、市道の点検、あるいはかかる県道などの大きな木を事前に調査をしていただき伐採していただければ、ありがたいという要望事項である。そういったところで、この件については、自助努力で解決できない観点だろうと思っているので、どうかお力を貸していただきたい。そういったところでお願いします。

もう1つ付け加えるが、避難所の吉川地区コミュニティセンターであるが、今回の避難所の開設で、ちょうど停電があり、避難所の施設が使えないという状況があった。これらの災害について、お帰りをいただいたという報告を伺っている。であるから、なかなかこの道路の事故だけでなく、そういった環境面の不利が私の地区はあるので、どうかご配慮いただいて、住民、私共が安心して暮らせるような環境を積極的にお取組んでいただきたいということで議題に挙げさせていただいた、よろしくをお願いします

未来政策部長

大きく2つご質問いただいた。まず伐採の関係で特に高いところとかお話があったが、地域のボランティアでやられてた分が、なかなか高齢化とか数も減ってきたということで難しいのは十分承知している。危ない作業は是非もうやめていただいて市に連絡をしていただければと思う。これは日常的な草刈りの部分も含めてである。私共の道路パトロール車を走らせているが、道路延長も長く気付かない部分もあるので日常的に見られていて、ちょっと変化があるようなところは、ちょっと過敏な感じでも構わないので、役所にご一報いただければ、すぐ飛んで参るようにしたいと思う。すぐに対応できる場合と事業者をお願いしないといけない場合もあるので。その間の緊急避難的な措置も含めて一緒に考えさせていただければと思う。また道路自体が市道だけじゃなくて県道もあつたりするので、そこも県に直接でも構わないし私共連絡いただければ県の方にも繋ぎたいと思うので、そのような対応をさせていただきたい。

それから2つ目の避難所のいわゆる自家発電がなくて停電になってしまって機能しなかったというところは、ご心配をおかけして申し訳ない。実はそういう避難所が他にもあり全市的な課題であるので整理をさせていただいてるところである。どれぐらいの避難所の割合で、どうやってするかという具体的な方針まで至っていないが、この件については、もう少しお時間いただければと思う。よろしくをお願いします。

市長

道路に接した樹木の伐採、いわゆる「さしかぶい」という言い方であるが2つだけ申し上げる。これまで、この議題とやり取りの中で、建設業者が、ゴールド集落に対しては作業した場合に、いわゆる総合点の加点、そういった優遇があると周知があったが、現在の取り扱いは、建設業者の方に強要するわけではないが、ゴールド集落でなくても、そうでない集落に対してボランティア作業をされた場合も、そういう意味の加点の優遇制度が今年度から入っているので、これはどんどんどんどん建設業者にしてください。という意味ではありませんので、ですからゴールド集落であろうと、そうでない場合でも市の仕組みとして作業は、その建設業会の団体の方がA自治会、B自治会いいですよ。ということがあれば、それがゴールド集落

であるか問わないという風に今年度から変わっているので、我々の方もその広報周知が足りなかったが、この場を議題が出たので、この場で平成中校区の方にお知らせする。

2点目は樹木の伐採の場合が民地から出ている場合が非常に難しいことがあるのでこれもお願いになるが、市道・県道で切っていた場合にこの地元の持ち主の方へのご理解を、ぜひ地元の方、地区コミュニティ協議会、自治会の方が、その木の所有者の方に説得というか、お願いするような仕組みをお願いする。財産であるので、さし被って邪魔になるので役所が勝手に切るということは、権利の侵害になるから、そのところも市と地元との協力で地元の方からも協力依頼をされるように、この場を借りてお願いする。

議題4 情報伝達の効率化について【陽成地区】

先ほど重点三項目の振り返りで説明をさせていただいた自主防災組織の向上策と関連する情報伝達の効率化について提案させていただく。地区内の情報伝達方法として市防災行政無線を使った自治会放送と、地区コミュニティ協議会による放送がある。自治会放送については、各自治会長が激務の中、責務を負いつつ地区住民に正確で迅速な情報伝達に心がけて有効に活用させていただいているところであるが、陽成地区コミュニティ協議会では予約、録音による方法でしか放送ができない。伝達内容の日程、時間に余裕がある場合は、煩雑な設定に戸惑いながらも予約録音による放送はしているが、近年頻繁に発生している激甚災害時などの緊急放送や案内、連絡など地区住民に正確で迅速な情報発信、伝達が地区コミュニティ協議会ではできない状況である。例えば台風来るということでの避難所開設などもあるが、多くの放送は各自治会長に詰所要員から陽成地区9自治会に連絡を取るが、自治会長は他にも仕事とか持っている関係で同一時間帯の情報伝達ができない状況である。今回ご提案させていただくのは、地区コミュニティ協議会も防災無線が一括してできる設備にしてほしい。聞くところによると陽成とあと1カ所ぐらいが、そうなっていると聞いた。今まで地域防災連絡調整会議等でも何度もご相談を申し上げたが、いっこうに前向きの回答が聞こえてこないのが今日はあえて提案させていただいた。まず人命を基本とした防災組織の向上には、迅速で正確な情報伝達が1丁目1番地ではないかと思うところである。このような現状を再確認いただき認識を持っていただいて整備計画などについて前向きな回答と早期の設備完成をお願いしたい。

未来政策部長

この件については、今年度中に試行してみたいと思う。ただし即時放送、1回電話機で録音し電話機を置いた瞬間に放送されるという生放送とはちょっと違うやり方で試行をさせていただきたい。これまでできていない理由は、地区コミュニティセンター内にある基地数、柱の数で、できるところとできないところがあったが、運用の変更をしたいと考えており担当課から連絡をさせるので、よろしく願います。

市長

このご要望いただいてから再認識したが、防災行政無線の個別受信機、各家の中に放送する仕組みを改めてご説明申し上げます。単位自治会の場合は、作業とか葬儀

の連絡が生放送でできる。自治会の放送は、個別受信機の録音方式は取っていない。一方、地区コミュニティ協議会内の個別受信機の放送については、今部長が申し会長からあったとおりに録音方式で一旦録音したものを流すことで生放送はされていなかった。生放送、録音放送と申し上げたが、今回のご質問で即時放送というやり方が判明と言いますか、システムとしてできることがわかった。申し上げたように地区コミュニティ協議会内の個別受信機に対して電話で通話し電話を切った瞬間に放送される。なお言い間違えた場合は、途中で中断して誤った放送が防げるということであるので生放送。録音の場合は、録音してから間を置いてということである。喋りながら間違ったら流さない。自分が正しいと思ったら、そのまま流すという仕組みがわかったので担当所管課に仕組み、やり方を再確認して、できる方向で全地区コミュニティ協議会に対してできるかどうかを含め運用の方を再検討する。

フリートーク

【意見：高来地区コミュニティ協議会会長】

振り返りの時にも申し上げたが、市と県との連携ということも発言させていただいた。1つは、稚児ヶ淵の親水公園化などの整備事業について市の見解を伺いたい。高来地区振興計画にも掲載されているこの稚児ヶ淵の親水公園化について、どこまで取り組んでいただけるのか。またその進捗と状況はどうなっているのか。合わせて重点項目の1つになっている清流の里整備事業についての考え方、これはどうか一環として高城川、妹背橋の上流から、清流の里までの河川敷の遊歩道化を検討している。妹背橋の上流130mくらいのところからであるが、そこの堤防に手すり付きの階段設置を県の方に要望しているが見通しはどうなっているのか。教えていただけたらと思う。

市長

まず全体的に私の方から申し上げるが、この稚児ヶ淵の整備については、私が市職員時代とだいぶ年数が経っている。川内市の総合計画に位置付けがあったことは認識している。それから、その下流いわゆる妹背橋の上流ということと、先ほど議題で出てきた川祭りのある清流の里、申し上げたような一連の長い距離の中で高来地区としてどれを優先して整備していくかという利活用を含めて、そこの議論をお願いしたい。一気に上流から私もよく朝晩通って分かっているが、高来住宅からずっと下流、堰があって、さらに妹背橋を渡って川祭りがある桜堤防のあの辺までを一気にということは、仮に市が何かするとしても行政の方も年次的なこともあり、それから先ほど会長も申されたように、今後の人口減少の中で次期地区振興計画の中で、どうやって地元が活用するかという議論と維持管理をどの程度地元ができるかということの議論をしていただきたいと考える。流れとしては非常にいい素材があるので、市としても可能な限り県とも協力しながら整備の方向で議論はしていきたいと考えている。

未来政策部長

私の方からも一部重複するが、上流の方から申し上げると経緯は今あった通りである。当時、調べたら購入予定地の一部の地権者の同意が得られないことが判明し、これで作業が止まっている。今あった通り、その地権者の同意が得られるような状

況になれば整備についても協議できるのではないかという認識でいる。その状況とかお聞きしながら、また一緒に検討させください。それから妹背橋の上流側について高城川の管理をしている県北薩地域振興局に問い合わせをしたところ、「令和2年9月の階段設置の要望を受けて現在、調査検討中である」という回答はいただいている。それと妹背橋の川祭りの会場の状況であるが、今年8月10日の塩田知事に対する要望活動の中で、ここの部分の補修工事を要望している。河川の改修をお願いしている。合わせて今年度は、現在9月末までに下流側の寄州除去の排出が終了して年度内に災害復旧の右岸の張りコンクリートの工事が完了するように作業を進めていると聞いているところである。状況は以上である。

【追加意見：高来地区コミュニティ協議会会長】

地区のいわゆる緑・水こういうものを地区民のみんなに共有していきたいという、そういう願いもあり議題にしたところである。どうかよろしく願います。

【意見：八幡地区】

2番目に八幡地区コミュニティ協議会の別府原からお世話になる。時間が非常に厳しい中であるが平成中学校はできて、もう34～35年になる。平成中の合併条件として、下東郷中と高城東中、平成中の間の通学路をつないでもらうという条件で平成中に合併を下東郷はしたというのは、ご存じの方もいらっしゃると思うが、もうあれから34年ぐらい経って実は10年ぐらいかけて色々と地権者の問題をやられて一部の本当の一部の方が同意されなくて、あと50mぐらいのところ止まっている。市としても大きな予算を費やして尽力いただいたが、あの50mは開通しない上に今まで投資が非常に失礼な表現であるが、ドブに捨てたみたい金額になっている。それをいろんな角度から指摘を受けていると聞いている。今回、地権者も、もう同意をされていて、ある程度、私も伐採に携わったが残っているのは市の用地買収、道路用として確保された3カ所ぐらいである。その他の方は全部同意されて予算さえ当ていただければ必ずあそこは実行できる。要望書をコミュニティ協議会としてあげていただきたいと思う。これは34、35年ぶりの実現になると思う。令和5年度の予算になると思うが、市長もあそこは毎日通られているので、気にはされていると思うが、如何せん地元が故に、しにくい点もあるかもしれないが最初の原点に帰り平成中ができる条件として地区民として同意した議題をぜひ完遂いただきたいと思う。それと市議会でも一部議員から提案いただいたらしいが、それもちょっと保留になったままである。今日この場で要望をさせていただく。

未来政策部長

実は私この道路の最初の担当しており状況はもう十分わかっている。用地の都合がつかず、なかなか進めなかった思いもある。ただ、今言われたような状況で残りの区間、全部の同意が取れてない状況の中で、市としては、なかなか、やりづらい部分もあるということと、もう1つあるが田海地区から平成中に通学する生徒の状況を見ると非常に数、人数が少ない状況もあり現時点で、この生徒の状況を踏まえると道路の延長整備が進めづらいと考えている。

【追加意見：八幡地区】

では市としては、この件に関しては却下ですね。わかりました。また別の角度で

行きたいと思う。市がダメなら他にいい方法を考える。前地区コミュニティ協議会会長も、その件に関しては毎年毎年言われて何年となるようであるが、やっぱり最初の原点の条件であるから今の地主の方は内諾されているので、そこはご了解いただきたいと思う。私も先ほど一地主の方に電話して内諾をもらっている。そこは相談があれば一緒に行く。

【意見：高来地区】

津山の坂の歩道について場所は、県道341号、川内吉川線になる。高来小学校の近くで西迫自治会と上手自治会の境界に存在している。当歩道は勾配のあるカーブになっており、ガードパイプを設置してあるが落ち葉などで滑りやすい上に竹木の繁茂で見通しが悪く歩行者や自転車などが、災害時も含めて大変危険である。本来ならば長年の懸案である道路の拡張をお願いしたいところだが、少なくとも竹木の伐採だけでも早めにしていただき、見通しを良くし落ち葉の対策を図っていただき住民の安全安心を確保したいと思うが見解をお願いします。

未来政策部長

この場所については、令和3年度に北薩地域振興局が防護策の設置の工事を行ったところである。先ほどの別の案件でもあったが、民地部分を地権者が維持管理するようになっており非常に難しい案件になっている。県道の樹木の維持管理は県がされているので地権者を確認してなかなか難しい場所であるが、伐採のご協力をお願いできないか県に相談していきたいと考えている。地区コミュニティ協議会におかれても、ご協力いただければと考えているので、よろしくをお願いします。

市長

いわゆる「ツヤマンサコ」である。私もしょっちゅう毎日通っているので県議会議員の時も土だけの頃からすると非常に県も改良したし、それから信号設置も北側の方になって以前とすればはるかに交通安全度は増したと思う。それから竹木伐採は県道、市道たくさん出てきて先ほども出て参ったが今のことについては、県管理の道路分であるので県にもそのことはお伝えする。それから、これも繰り返しになるが、木の持ち主が市民の場合は、県も勝手に切れないという部分もある。そういう大きな支障案件が、木がある時はどうか地元の方からも所有者が地元の方であれば、この往来に邪魔になる部分だけでも切らせてくださいということの協力をぜひお願いします。

【追加意見：高来地区】

先ほど地区の協力をいただきたいとおっしゃったが、どういうことか。

未来政策部長

私共だけではなくて地区からのこういう要望もあったということで、この令和コミュニティトークの場でも、ご意見いただいたということで県道も管理区域がたくさんあるので優先順位とかそういうのもあられる。そういった地元の熱意って言うか、そういう声を、やはり官民一体となって要望しないといけないと考えているので、ご理解をよろしく願う。

【意見：八幡地区コミュニティ協議会会長】

未来政策部長にお聞きする。この前のコミュニティ会長会時に、市の資源物回収の件で話をされたと思うが、資源物の売上金が非常に減っているとの話であった。確かにいろんな業者がおり、そちらに搬入している方もたくさんおられるが、少子高齢化で、資源物回収はいつまでできるのか。高齢者になると仕分けのできない家庭がかなり増えてきている。独居住まいのご老人の方が、仕分けができないという状態を各自治会、今後、抱えてくると思うが、業者のように場所を確保し、持ってきた方が自分で、順次選んで入れるという形を取る計画をされているのか、あるいは、今後も今の状態でずっとやっていかれるのか、自治会にはリサイクル員が1人おり各班長にも協力はいただいているが、いつまで仕分けができるか。という状況も出てきているので、どういう考えなのか。売り上げも確かに減ってくるのは事実だと思う。

未来政策部長

取り扱い量が減っているので売り上げが減っているという話があったと思う。現在私、直接の担当じゃないながらも、今認識しているのは、高齢化で仕分け、それから出し方、出し方も時間の問題もある。タイミングもある。そういったことの課題がある事は、十分認識しており、そこをどこまで自治会でも対応できるのか担当課はそういう認識持っているので、来年からどうこうという具体的な動きはないが、そういう課題認識は持っている。そのような再度のご意見、ご心配の声があったということは担当にもちゃんと繋いで何らかの方向性、リサイクル推進員の方、自治会、それから地区コミュニティ協議会の方々のお知恵をいただかないといけないと思っているので、よろしく願います。

【意見：城上地区】

小川自治会から、おかげ様でゴールド集落である。世帯数が11戸、住民票の届け出数が25人であるが、実質居住者は20人。それで65歳以上が16人の高齢化率は80%である。70歳以上にしても13人、65%である。ゴールド集落の自主活動の支援補助金は申請して認可され、ありがたく利用させていただいている。本当に感謝する。それとは別であるが先ほどから出ている市道の草刈りあるいは先ほど言われた通り、道路に「やんかぶった」竹、木これは私のところは今寺・松岡線である。自治会を通っている市道として、これは約3kmちょっとある。この山の地主から、「さしかぶった」これはもう自治会から出た方にも連絡取り全部許可は取ってある。1人も反対者はいない。そのおかげで今年の9月の台風の後には早速処理いただいて本当に感謝する。年に定期的に1回、2回、3回、本当は欲しいが、そうはできないだろうから定期的に巡回いただき場所はわからんところは自治会長あるいはそこら辺にいる人に聞いてもらえればすぐ分かるので、それで今の状況はだいたい4人ぐらいで、一人にだいたい草を払う人は延長800mぐらいを払っている。その左右であるから1.6kmである。それを年に4、5回やっている。もう限界である。油代も高いし年金は少ないし、これは国の制度だから申さないが、ゴールド集落の現状を十分ご理解いただいて、ご支援いただければと思う。1つよろしく願います。これはもう私だけじゃなくて他のゴールド集落あるいは田舎の山の中の自

治会の方は本当に大変だと思っている。私はその大きなことを言うが、その方々を含めた形でお願いしたいと思うので、よろしく願います。

未来政策部長

道路、河川にかかる愛護作業を少ない人数でしていただけて本当に感謝する。先ほどから出ているように私共としても道路の巡回をしながら地元でできない部分は市の方でやっていきたいと考えている。先ほど少し触れられたが、特にここはってというようなところがあればご連絡いただければと思う。後ほど担当者の方から連絡をさせていただきたい。危ないところをしていただけて怪我になるというのが1番怖いと考えている。どうかよろしく願います。

【意見：高来地区】

1点目、平成中校区とは関係ないが、駐車場の問題である。SSプラザせんだいの駐車場。4階建ては市の建物か、JRの管理か。私が申し上げたいのは、出入口がJRの1番端で1箇所しかない。この前、SSプラザせんだいで1,000人ぐらい入ったショーが開催された。駐車場の4階にちょうど停めたが、帰りに1カ所しか出口がないことから、帰りは大変混雑して1時間半かかった。だから、専用の出入口をもっと設けるべきだと思う。1時間半も帰りが遅くなった。トイレにはいけないといけないうし、皆さん困っていらした。そういう実態であったので改善してほしいと思ったところである。

2点目は、高来地区の要望として再確認であるが、県道吉川川内線の渋滞解消、先ほど国道3号線からと西町・瀬ノ岡線からの渋滞緩和対策として、右折レーン、左折レーンを設けるということであったが、どこを右折レーン、左折レーンを作られるのか、いつ頃工事がなされるのか。着手されるのか。それをお伺いしたい。副市長に願います。

永田副市長

県道吉川川内線の交通渋滞対策について図面がないので、ちょっとわかりづらいかもかもしれないが、まず県道吉川川内線の区画線の右折ラインの区画線の延長を申し上げた。これは国道3号から入ってきて京セラの前を通過して城上方面に抜けるその車が今1車線ですので、詰ってしまえば右折車が入れれば捌けないという実情があるかと思うので、その右折レーンを新たに作るという工事である。先ほども説明したが、これは県の事業であり、10月末に発注され今年度中に区画線処理は終わる予定である。これが1点。

もう1つは、総合運動公園から下ってきて京セラの前の三差路と言うか、信号機がある。そこも下ってきたところでは、1車線になっていて左折であれば、どんどん流れて、国道3号に流れていくが右折車が何台か止まっていれば、右折車があれば後ろの車が左折できずに詰まってしまうという実情があるので、現在、設計を打っている。これも先ほど申し上げた。それと下ってきて県道にぶつかるその角地を拡幅しないと、レーンが確保できないので事業者が今あるので、そちらの方に用地の相談もしつつある。そういうことで測量設計と用地の相談をしつつあるというのが今である。環境が整い次第、これは予算も伴うので、できるだけ早く左折レーン、要するに、その工事を着手して解消につなげたいということである。以上である。

未来政策部長

私の方で駐車場は、JRのものではございません。私共が承って運営はまた民間の会社がやっているが、その事象については、たくさんお叱りいただいて本当申し訳なかったと思っている。駐車場だけの問題ではなく、たくさん捌けると今度は地域の渋滞にも繋がる部分もあり何らかの改善をしないとイケないということで、今検討を進めてるところである。それにしても、1時間を超えるような待ち時間があつたということで、本当に申し訳なかったと思っている。もう少しお時間いただきたい。

【意見：吉川地区】

我々の自治会は、地域の山を持っており山の固定資産税がすごくある。市は、この山を全部引き取ってもらえないか。固定資産税が23万円あつたら、自治会はこの後どうしようもなくなってしまう。なんかいい方法はないか。

市長

以前に、そのこともご地元で聞いたことがある。即答できないので、ちょっと大きな山であるので議題として引き取らせてください。なかなか共有林が、この川北、城上、吉川から藤川方面、たくさんあつて、いわゆる課税標準が上がっていった時に課税になった時に代表者の方にいわゆる切符が来るということであるが、大きな課題であるので、そのことについての回答、速答はできないで今日は、そういうご意見をちょっと引き取らせてください。

【意見：城上地区コミュニティ協議会会長】

今、市において市幼稚園適正規模検討委員会が開かれており、市内の幼稚園の統廃合、存続が議論されている。私も城上の代表、委員として出席し、議論の方向と、だいたいの内容は決まりつつある。平成中校区では幼稚園は高城中央幼稚園それから八幡幼稚園が廃園になっている。唯一残っているのは城上幼稚園である。いろんな議論の中で人数が少ないからやむを得ないなという感触を持っているが、平成中校区として小学校が2つはなくなり幼稚園もなくなるということで大変、地域としては、やっぱり活性化が削がれるという感じを受け取って心配している。議論としてどういう議論をしているのか、どういう考えでされているのか大きな考え方でご説明していただければと思う。細かい人数、それがどうとは申し上げない。平成中校区の方が集まっているので、よろしく願います。

教育部長

教育部の方から回答させていただく。会長からあつたとおり現在、市立の幼稚園については近年、急激に入園児数が少なくなり挨拶の中にあつた本地域内の八幡幼稚園、地域外であるが祁答院や入来の子稚については令和2年度から5人未満となり来年3月をもって閉園という方向性を出している。そういった中で今後、残された本土や島の市立の幼稚園をどのように考えていくのかということで議論をしている。議論には、幼稚園の関係者及び地域の代表の方、保護者の代表の方も入っていただき専門家の方も加っていただいた中で地域において市立幼稚園を維持していく場合において3歳から5歳の園児数をどれだけ確保、どれだけいて必要な幼児教育

ができるのか、こういった形でやるべきなのかということも議論しており、その中では保護者等のアンケートから少なからず園には10人から15人の園児がいなければ小学校に上がっていく課程における幼児教育というのは、なかなか集団での学び合い競い合いと生活習慣を身に付けることはできないので、そういったことに向かって、どのように取り組んでいくべきだろうかという話をしている。結果、大筋、見えてきたのは、申し上げた10人から15人の園の形で残るように議論し、私立の幼稚園、保育園等で、だいたい昼の2時以降に保護者の方がお勤めになられたりして、一時預かりをするような事業等がスタートしているので、これらの一時預かりの取組を、本土にある4園、城上幼稚園、ひわき幼稚園、亀山幼稚園、東郷幼稚園等において取り組むこと。令和5年、6年、そういった取組を行うことで実際に幼児教育が必要とする10人程度の園児の確保が持続的に図っていただけるのかどうか。ということに取り組みながら整理と言うか、10人以上になるところについては残していくように議論を進めていきたいとしている。また議論の過程であり、また11月に検討委員会の方を行って内容等の方が固まったら住民の皆さん方、広くパブリックコメント等をしながら方針等を出すことにしているが、来年度、再来年度の城上幼稚園等の園児の皆さんの方も地域において一時預かり等をやるということも含めて多くの方々に通園いただくような取組をお願いするような状況にある。取り留めのない話で話させていただいたが、そのような状況で検討を行っているのを見守っていただければ幸いである。

【追加意見：城上地区コミュニティ協議会会長】

その他にちょっと1つだけいいか。もう時間がないと思うが。前回の「まちづくり懇話会」令和元年11月19日前の市長の時にあったが、その時にお願いしたのは中間自治会、城上の一部の自治会であるが野外放送が聞こえないということがあり検討をお願いしたところ、すぐに防災安全課の方で対応いただいて色々検討いただいて新しい鉄塔を建てていただいて聞こえないということは解消された。感謝する。お礼である。

それともう1つ、その時にもフリートークで話題になったこともあるが鳥獣被害対策についてお願いしたが、その後、農政課の方に城上地区として鳥獣被害対策をお願いしたところ国の事業で籠わなを市で買っていただいて城上地区に3基、貸し合っている。これも本当に感謝する。今、3基設置してあるが、残念ながら1カ月経つが、まだかかっていない。いずれにしても、そういうことで感謝申し上げます。